

- 1 **$x=4$ 、 $y=3$** 10点
②より $x=y+1$ 、①に代入: $(y+1)/2+y=5$ 。両辺 $\times 2$: $y+1+2y=10$, $3y=9$, $y=3$, $x=4$ 。検算: $4/2+3=5\checkmark$, $4-3=1\checkmark$
- 2 **$2n+(2n+2)+(2n+4)=6n+6=6(n+1)$ より6の倍数** 10点
整数 n とすると連続する3つの偶数は $2n$, $2n+2$, $2n+4$ 。和 $=6n+6=6(n+1)$ 。 $n+1$ は整数なので6の倍数。
- 3 **(2, 3)** 10点
 $2x-1=-x+5$ 。 $3x=6$, $x=2$ 。 $y=2(2)-1=3$ 。 交点は(2, 3)。
- 4 **135°** 10点
外角の和は 360° 。 正八角形の1つの外角 $=360\div 8=45^\circ$ 。 内角 $=180-45=135^\circ$ 。
- 5 **8250円** 10点
販売価格 $=6000+600=6600$ 円。 これが定価の0.8倍。 $6600=0.8x$ 。 $x=8250$ 円。
- 6 **底角等しい、対角線の長さも等しい** 10点
 $AD=BC=5\text{cm}$ なので等脚台形。 底角が等しく、対角線の長さも等しい。
- 7 **①平均値=28.7 ②中央値=28.5 ③Q1=25 ④Q3=32** 10点
昇順: 20,22,25,26,28,29,30,32,35,40。 合計 $287\div 10=28.7$ 。 中央値 $=(28+29)\div 2=28.5$ 。 $Q1$ =下半分の中央値(3番目) $=25$ 。 $Q3$ =上半分の中央値(8番目) $=32$ 。 四分位範囲 $=32-25=7$ 。
- 8 **イ. $a=c$** 10点
1次関数が平行である条件は、傾きが等しいこと。つまり、 $a=c$ 。切片 b と d は異なっても平行。
- 9 **イ. 108°** 10点
内角の和 $=(5-2)\times 180^\circ=540^\circ$ 。 $1つ=540\div 5=108^\circ$ 。
- 10 **ウ. Bの方が中央50%のデータの散らばりが大きい** 10点
四分位範囲はデータの中央50%の散らばりを示す。 Bの方が四分位範囲が大きいので散らばりが大きい。 データ数や平均値は四分位範囲からは分からない。